

TIS、電池レス・配線レス「EnOcean」対応センサーと「AWS IoT」を連携 ～ 環境発電技術とクラウドを組み合わせ、 容易かつ低コストでのデータ蓄積を実現可能に ～

ITホールディングスグループのTIS株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役会長兼社長：桑野 徹、以下TIS）は、電池レスかつ配線レスの無線通信規格「EnOcean（エンオーシャン）」に対応したセンサーを、アマゾン ウェブ サービス（以下AWS）のIoT（Internet of Things）のマネージド型クラウドプラットフォーム「AWS IoT」と組み合わせて提供することを発表します。

TISでは、需要が高まっているIoT関連システムの構築支援に向けて各種アライアンスや関連技術の取り込みを進めており、今回の「EnOcean」センサーの取扱開始もその一環です。

「EnOcean」は、光や温度、振動などの微弱なエネルギーを集めて電気エネルギーに変換する「エネルギーハーベスト技術（環境発電技術）」を使用した、電池不要の無線通信規格です。この規格に対応したセンサーモジュールや開発キット、スイッチモジュールなどは、アジア圏で唯一のプロモーターメンバーであるローム株式会社より供給されています。

電池交換不要・配線不要の規格特長を生かし、特にスマートホームやビルオートメーション分野で急速に普及が進んでおり、先行して導入が進んでいる欧州ではビルや工場などの照明システムやセンサネットワークとして40万棟以上の採用実績があります。

TISは、この「EnOcean」の規格に対応したセンサーの販売代理契約を、電池レスの「EnOcean」製品を取り扱うコアスタッフ株式会社と締結し、IoT関連システムの構築に活用します。

また、TISは、AWSパートナーネットワーク（APN）の「AWS プレミアコンサルティングパートナー」に認定されており、数十億個のデバイスとそこから収集される数兆件のデータを確実かつ安全に処理することができる「AWS IoT」に、「EnOcean」のセンサーを接続してデータの収集・蓄積が可能であることを検証しました。

今後は、大量のデータ処理に優れた「AWS IoT」に、電池レス・配線レスの「EnOcean」センサーを組合せたIoT向けプラットフォームを、製造業などを中心に提供していきます。

■TISが「EnOcean」対応製品を提供する背景

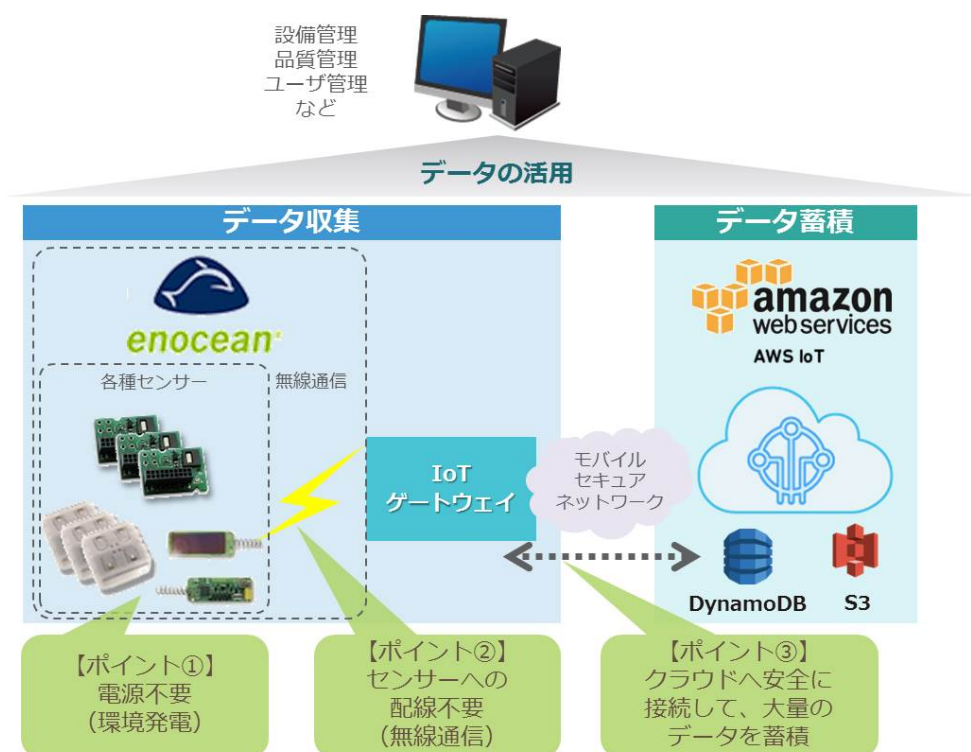
IoTの普及を背景に、様々な業務分野で関連システムが活用されるようになると、データを収集するセンサーの設置や運用管理、コストなどが大きな課題となります。

例えば、工場の生産ラインの各所に設置した多数のセンサーデバイスから大量の機器関連データを収集・蓄積するという生産ライン監視のIoTシステムの場合、センサー電源の確保や収集データを受け流すネットワークの管理は、設置するセンサー数に比例して、膨大なものとなります。

こうしたケースに、電源確保や電池交換といったメンテナンスが必要なく、ワイヤレスでの通信が可能な「EnOcean」のセンサーを活用することで、配線工事も不要でどこにでも手軽にデバイスの設置が可能になります。

これにより、IoT システムのセンサー設置・運用コストの大幅な改善が可能になり、システム導入も容易になります。

< 「EnOcean」 と 「AWS IoT」 の連携イメージ >



■ 「EnOcean」 について

「EnOcean」は、光や温度、振動などの微弱なエネルギーを集めて電気エネルギーに変換する「エネルギーハーベスト技術 (環境発電技術)」を使用した、電池不要の無線通信規格です。「EnOcean」の詳細は以下をご参照ください。

<http://www.rohm.co.jp/web/japan/EnOcean>

■ 「AWS IoT」 について

「AWS IoT」は、アマゾン ウェブ サービスが提供する、接続されたデバイスが簡単かつ安全にクラウドアプリケーションやその他のデバイスとやり取りできるマネージド型クラウドプラットフォームです。数十億個のデバイスと数兆件のメッセージをサポートし、それらのメッセージをAWS エンドポイントおよび他のデバイスに確実かつ安全に処理ルーティングします。

「AWS IoT」では、AWS Lambda、Amazon Kinesis、Amazon S3、Amazon Machine Learning、Amazon DynamoDB など AWS の各種サービスが簡単に使用でき、接続されたデバイスによって生成されたデータをインフラストラクチャの管理を必要とせずに収集、処理、分析、実行する IoT アプリケーションを構築できます。「AWS IoT」の詳細は以下 URL をご参照下さい。

<http://aws.amazon.com/jp/iot/>

■ ローム株式会社について

ロームは、1958 年 (昭和 33 年) 設立の半導体・電子部品メーカーです。自動車・産業機器のほか、民生・通信など多様な市場に対し、品質と信頼性に優れた LSI やディスクリート、電子部品を供給するとともに、システム全体を最適化するソリューション提案を行っています。

また、豊富なセンサー群と得意とする無線通信技術を組み合わせたセンサネットワーク構築に取り組み、2012年10月には、アジア企業として初めて次世代無線通信規格推進団体「エンオーシャンアライアンス」のプロモーターメンバーに就任。HEMS、BEMSなど新市場への展開・普及を図っています。詳細は以下をご参照ください。<http://www.rohm.co.jp/>

■コアスタッフ株式会社について

コアスタッフは2000年に設立され半導体・電子部品の輸出入及び販売、各種ボード・モジュール製品の販売を行っております。いずれもオンラインでの販売も行っており半導体・電子部品のオンラインショップ「ザイコストア」モジュール製品販売のオンラインショップ「ITstore」を展開しています。EnOceanの各種製品については2014年からロームより供給を受けており、2015年に「エンオーシャンアライアンス」準会員となっています。詳細は以下をご参照ください。

<http://www.corestaff.co.jp/>

TIS株式会社について

ITホールディングスグループのTISは、SI・受託開発に加え、データセンターやクラウドなどサービス型のITソリューションを多数用意しています。同時に、中国・ASEAN地域を中心としたグローバルサポート体制も整え、金融、製造、流通/サービス、公共、通信など様々な業界で3000社以上のビジネスパートナーとして、お客様の事業の成長に貢献しています。詳細は以下をご参照ください。<http://www.tis.co.jp/>

ITホールディングスグループについて

ITホールディングスグループは、約2万人、50社から成るIT企業グループです。グループ各社が様々なエキスパートであり、日本国内および海外の金融・製造・サービス・公共など多くのクライアントのビジネスとその先にあるお客様の日々を支えています。クライアントの課題を解決するだけでなく、クライアントのさらにその先にあるお客様のニーズを先取りして一歩進んだ提案をしていきます。

※ アマゾン ウェブ サービス、AWS、AWS ロゴは、米国 その他の諸国における、Amazon.com, Inc. またはその関連会社の商標です。

※ 記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。

※ 記載されている情報は、発表日現在のものです。最新の情報とは異なる場合がありますのでご了承ください。

【本件に関するお問い合わせ先】

◆報道関係からのお問い合わせ先

TIS株式会社 コーポレート本部 企画部 広報室 浄土寺/橋田

TEL : 03-5337-4232 E-mail : tis_pr@ml.tis.co.jp

◆本件に関するお問い合わせ先

TIS株式会社 プラットフォームサービス本部 プラットフォームサービス事業部

プラットフォームサービス企画部 内藤

TEL : 03-5337-4378 E-mail : aws_sales@ml.tis.co.jp